

広島大学病院 在宅緩和ケア事業研修会

■テーマ

『難治性疼痛と地域連携』

司会・進行 広島大学病院 緩和ケアセンター 倉田明子 医師

ミニレクチャー：「神経ブロックとがん性疼痛」

講師：広島大学病院 麻酔科 診療准教授 中村隆治 先生

事例検討：「地域と共に支える難治性疼痛患者へのかかわり」

※事例提示の後、グループワークを行います

がん患者をはじめとする終末期の看取りに向けた療養について、拠点病院の入院と在宅診療、緩和ケア病棟と在宅診療を行き来しながら療養を進めていく患者さんも増えており、互いの医療・ケアの内容を知って連携する必要があります。本研修では、終末期の症状緩和やケアについて、エキスパートの先生方の講演とともにグループワークを行い、知識の向上と、連携スキルの獲得を目的としています。皆様奮ってご参加ください。

■開催日時 2026年1月31日（土）14：30～16：30(建物解錠14：00)

■開催場所 広島大学病院 凌雲棟1階 学生スペース

■対象者 がん診療に携わる医師・看護師・薬剤師など医療従事者

■申込方法

QRコードを読み取り、
申込フォームに入力後送信してください



■申込締切日 2026年1月16日（金）17：00 ※本研修会は必ず申込みが必要です

お問い合わせ：広島大学病院医療支援グループ ☎082-257-5934

■定員 35名（定員になり次第締め切らせていただきます）

《主催》広島大学病院（都道府県がん診療連携拠点病院）

《共催》中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム／広島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン